

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	日本経済論 (Japanese Economy)	授業コード	E030901
担当教員名	市川 芳郎	科目ナンバリングコード	E20415
配当学年	2	開講期	前期
必修・選択区分	経営経済学科、選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	現実の経済の動向に対しての関心があるかどうかがこの科目の理解の程度に大きく影響してきます。日々の新聞、ニュースに関心を示し、注意を払って下さい。		
受講心得	講義を受ける基本的なルール(私語をしない、他の受講生の学習の邪魔をしないなど)を遵守して下さい。出席は毎回とります。毎回プリントを配布します。		
教科書	特定の教科書は使用しません。毎回講義用のプリントを配布します。		
参考文献及び指定図書	浅子和美・篠原総一編 『入門・日本経済 第4版』 有斐閣 2011年 小峰隆夫・村田啓子『最新日本経済入門(第4版)』 日本評論社 2012年		
関連科目	経済政策論(2年次前期)、国際経済政策(2年次後期)		

授業の目的	本講義の目的は、これまでの日本経済の発展とそれを可能にした基本的な枠組み、機構についての正確な理解とその習得をもとにして、受講者が現在および将来の日本経済の諸課題について分析し、考察できるための日本経済についての分析力を身に付けてもらうことにあります。
授業の概要	前半部では日本経済の現実の姿を時代を画するキーワードを中心に説明します。戦後改革、高度成長、プラザ合意、バブル経済、失われた20年など、が主なキーワードです。後半では、日本経済の現状と課題について説明します。少子高齢化、構造改革の行方、変貌するアジア経済の中の日本経済、アベノミクスをとりあげます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：第1回 日本経済論の講義を始めるに当たって一案内 講義の目的、受講心得、参考文献及び指定図書、評価方法についての全般的な説明をおこないます。授業内容について概略を説明します。	
第2週：日本経済の発展1:高度成長から低成長へ 第2次世界大戦での敗北後、高度経済成長を達成し、その後低成長へと移行した時期を戦後復興期、高度成長期、第一次石油ショック、低成長期、をキーワードとして説明します。	配付プリント
第3週：日本経済の発展2:バブル・金融システム不安・長期不況 資産価格の決まり方とバブル、バブルの崩壊、平成景気・平成不況、不良債権と金融システムの不安定性、沈んだ日本経済、について説明します。	配付プリント
第4週：日本経済の発展3:構造改革と世界同時不況 小泉構造改革、リーマン・ショックと日本経済の調整、民主党への政権交代とその影響、について説明します。	配付プリント
第5週：現代日本経済の課題1:労働 景気変動と雇用情勢の変化、日本の雇用構造、日本型雇用慣行の変化の方向について説明します。	配付プリント
第6週：現代日本経済の課題2:産業構造 日本の産業構造の変化、サービス化の進展、21世紀のリーディング産業について説明します。	配付プリント
第7週：現代日本経済の課題3:物価の変動とデフレ問題 なぜ物価安定は重要なのか、物価の下落はなぜ困るのか、デフレの背景について説明します。	配付プリント

第8週：現代日本経済の課題4:貿易と経常収支赤字化の意味 グローバル化の進展と貿易、経常収支の姿とその変動メカニズム、日本の貿易構造の変化、環太平洋経済連携協定(TPP)とは何か、TPP参加の意義について説明します。	配付プリント
第9週：現代日本経済の課題5:円レートの変動と日本経済 円レートの見方、円レートはなぜ変動するのか、円レートの変化が日本経済に及ぼす影響について説明します。	配付プリント
第10週：現代日本経済の課題6:直接投資と空洞化をめぐる議論 世界的に増加する直接投資、グローバル化と企業の対外直接投資、海外投資と国内投資は代替的か、地域経済への影響、について説明します。	配付プリント
第11週：現代日本経済の課題7:財政をめぐる諸問題 景気対策としての財政の役割、深刻化する日本の財政赤字、財政の再建はできるのか、について説明します。	配付プリント
第12週：現代日本経済の課題8:金融と金融政策 デフレからの脱却と金融政策、サブプライム・ローン問題と日本経済への影響、インフレーションターゲットとは何か、について説明します。	配付プリント
第13週：現代日本経済の課題9:少子高齢化と社会保障 年金の仕組みと課題、増加する医療費、社会保障と税の一体改革はなぜ必要か、について説明します。	配付プリント
第14週：現代日本経済の課題10:人口構造の変化と日本経済 今後の人口構造の変化、高齢化による貯蓄率の低下、人口オーナス(人口ピラミッドが逆三角形となり、働く人の割合が低下する)下の産業・企業、その対応、について説明します。	配付プリント
第15週：現代日本経済の課題11:「アベノミクス」と日本経済の将来展望 「アベノミクス」とはなにか、その成果はどのようなものか、を含めて日本経済の将来展望についてまとめます。	配付プリント
第16週：期末試験 配付プリントと自筆のノートの持ち込みは可能です。論述形式の試験問題で実施します。	学生証 配付プリント 自筆ノート
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」 (2)複数担当の場合の方式 (3)アクティブ・ラーニング
地域志向科目	該当しない
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	1.新聞、TVをとおして日本経済の日々の動きを把握しようとしている。
【知識・理解】	2.現在の日本経済がどのような時間的経過を通して形成されたかを理解している。 3.何が現代日本経済の課題なのか、その対応について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	60点	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について)				
※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を楽しむ、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	授業確認テストをします。意欲的に集中して授業を聴いていたかを確認する問題を出します。課題を設定してレポートを提出してもらいます。授業の中で指示します。
発表・その他 (無形成果)	授業の中で質問する場合があります。適切な解答をした人には、記録して加点します。